

鳩山内閣がめざす国会法改悪の重大なねらい

鳩山首相は12月26日、「ベストの憲法をつくりたい」と表明。これを受けて産経新聞は29日の社説で「集団的自衛権行使に向け9条の解釈を変更することが日米同盟の強化に繋がる」と強調しました。

地ならしの動きは既に始まっています。民主、社民、国民新党の与党3党は28日、小沢幹事長主導の「国会改革」の第1歩として、「国会法」等一部改正案を通常国会の冒頭で成立させることで合意しました。焦点は、官僚答弁禁止を口実に、憲法9条の解釈を内閣主導でおこなうため、内閣法制局長官の答弁を禁止することにあります。内閣法制局長官は、自衛隊の海外派兵を容認する解釈改憲を極限まで積み重ねる一方で、世論を前に、9条のもとでは海外での武力行使、武力行使との一体化は許されないといい続けてきました。与党は、この制約を取り払おうとしています。先にあるのは、国連決議のもとでの自衛隊の海外派兵、武力行使です。国会法改悪阻止のとりくみを広げることが求められています。



6日、寒風の中、11団体23名が新宿駅西口で街宣しました。全労連の柴田副議長、全教の木原執行委員が司会し、国公労連・宮垣委員長、全労連・小田川事務局長、自治労連・柴田副委員長、自由法曹団の横山常幹、鷺見幹事長、憲法会議の長谷川事務局長、日本共産党の笠井衆議院議員が次々とマイクを握り、訴えました。

憲法会議・全労連・自由法曹団が街頭宣伝

9条改悪に道を開く国会法改悪許すな！

国会開会を前に 学習決起集会(1.14)開催

憲法会議・全労連・自由法曹団の3団体は通常国会開会を前に、緊急に国会法改悪許すなを掲げて学習決起集会を開催します。要綱は以下の通り。

■ 1月14日15時～17時 ■

—衆議院第2議員会館第1会議室—

- 主催者あいさつ
- 学習会
- ・国会めぐる情勢と国会法改悪のねらい
- ・講師 穀田 恵二さん
(日本共産党衆議院議員・国対委員長)
- 報告・討論
- 行動提起
- 閉会のあいさつ